

令和7年10月14日

お知らせ

課名	生活衛生課
担当	原田・三宅
内線	3507・3512
直通	226-7338

毒キノコによる食中毒が発生しました

1 探 知

令和7年10月12日(日)、真庭市内の医療機関から真庭保健所へ「毒キノコが原因と疑われる食中毒患者を診察した」旨の通報がありました。

2 概 要

患 者： 真庭市在住 3名（80代男性、80代女性、50代女性）

症 状： 吐き気、嘔吐

状 況： 患者が、10月11日(土)、真庭市内の山に自生していたキノコを採取し、10月12日(日)朝に味噌汁にして家族で喫食したところ、約2時間半後に吐き気、嘔吐の症状を呈した。

3 調査結果

真庭保健所が、残っていたキノコを岡山県農林水産総合センター森林研究所に鑑別を依頼したところ、毒キノコであるツキヨタケであることが判明したこと、患者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、同保健所はツキヨタケによる食中毒であると断定しました。

<毒キノコによる食中毒予防の啓発をお願いします>

毒キノコによる食中毒を予防するため、次の4原則を守りましょう。

知らないキノコは、絶対に

『①採らない、②食べない、③売らない、④人にあげない』

「食べられるキノコ」と「毒キノコ」を見分けるのは、素人にとって非常に難しいことです。素人判断で安易に野生のキノコを食べたり、人にあげたり、販売したりするのは絶対にやめましょう。

【参考（岡山県内の食中毒の発生状況）】

1	今年（1月から今回までの事件を含む）の発生状況	7件	108名（うち死者1名）
	【うち岡山市	1件	21名（うち死者0名）】
	【うち倉敷市	0件】	
2	昨年（1月～12月）1年間の発生状況	9件	296名（うち死者0名）
3	過去10年間(H27～R6)のキノコによる食中毒の発生状況	8件	23名
	【今回を含む	9件	26名】

(参考資料)

ツキヨタケ（毒キノコ）



(提供：岡山県農林水産総合センター森林研究所)

ヒラタケ（食用キノコ）



(提供：岡山県農林水産総合センター森林研究所)

患者が採取したツキヨタケ（毒キノコ）

